



平成27年度
市民提案型協働事業
プレゼン資料

「城山砦跡」の
整備・管理と有効活用
プロジェクト(3年目)

NPO法人ユーアイネット柏原

狭山市柏原3161番地の10
狭山ニュータウン73-3
電話:04-2907-8577

E-mail:info@sayama-ui.net

URL:<http://www.sayama-ui.net/>

(代表理事 小澤 浩)



事業内容と目的

★事業名

「城山砦跡」の整備・管理と有効活用プロジェクト

★事業費の総額：159,920円

（補助金：140,000円 自己資金等：19,920円）

★事業のねらいと目的

- ①狭山市の歴史的遺産を、定期的に清掃整備・保全を図り、市民共有財産として後世に伝承する。
- ②狭山市の貴重な観光資源として広くPR活動を行い、市内外から多くの観光客招致を図り、地域商工業の振興とまちの活性化を促進する。
- ③小・中学生の歴史教材として活用すると同時に郷土愛の醸成にも資する。
- ④多様な団体や個人との協働と支え合いの模範事例とする。

実施計画の概要

★環境美化と保全作業

- ①清掃(下草刈りと低木の選定など) ⇒3回/年間
- ②廃棄物の撤去と処分 ⇒回収は都度、処分は清掃残滓物と同時
- ③環境保全見回り: ⇒4回/年間
- ④作業延べ人員:41人 ⑤作業延べ時間:94時間

★紹介パンフレット作成

史跡紹介パンフレット1,000部

★本廓内の危険防止柵設置

材料手当て・設置作業延べ人員:15人 時間:30時間

昨年度の実施状況の様子(1)



昨年度の実施状況の様子(2)



事業を実施することの効果(1)

1 協働の意義と価値と重要性の再認識

- ①史跡の整備・保全事業を通じて、協働者（社会教育課、柏原地区センター、柏原1区及び8区自治会、柏原中学校、地域住民等）との史跡に対する価値観と後世に伝承することの重要性を共有。
- ②協働の実践模範事例として、住民の意識喚起の一助になる。
- ③誰かが率先して行動を起こさなければ、貴重な史跡も風化して歴史の彼方に忘れ去られてしまう。

2 ふるさと意識と誇りの高揚・醸成

狭山市の史跡を大事に管理・保全することは、市民であることの誇りと郷土愛の醸成につながる。

3 小・中学校の郷土の歴史教材として活用

協働事業を実施することの効果(続き)

- 4 市民の四季折々の安全・快適な散策コースとして
また憩いの場所の提供
- 5 狭山市の観光史跡としての価値が高まり、市内外からの
お客様呼び寄せの材料になる
- 6 以って地域経済の促進・活性化に資する



課題と今後の展望

★課題

①史跡の整備・管理の継続性

⇒運営費用の捻出と担い手の確保(有償ボランティアの確保)

⇒協働事業として民間への委託事業化の促進

②史跡活用と地域活性化の機能的手法

⇒宣伝手法

⇒市内の有形・無形の史跡や文化遺産との相乗効果施策

③市内の全小・中学校の児童生徒へのふるさと学習時間の設定

⇒月に1回1時間程度、ふるさとへの愛着と誇りを醸成

★今後の展望

●運営資金の確保⇒★民間に委託形式にして史跡保全の継続性を確保する ★保存会を結成して運営資金・労働力を募る

●市内の有形・無形文化財と特産品(狭山茶や里芋)を市内外に宣伝して、来客増を図り、経済効果を高めてまちの活性化と地域雇用の創出を図る

⇒★特色のある宣伝用総合パンフレットの作成配布やホームページの効果的な運用を図る

ご清聴

ありがとう

ございました

NPO法人ユーアイネット柏原